

圧力スイッチ

ISGシリーズ

汎用型圧力スイッチISGシリーズは、工作機械、産業機械、コンプレッサ、化学プラント、発電所、船舶用機械など広い分野で、油圧・水圧・液圧・空気圧などの自動圧力制御に利用されます。



ISG130

形番・仕様

形番		圧力調整範囲 MPa	応差調整範囲 MPa	保証耐圧力 MPa	線返精度 MPa	接液部材質	応差 目盛板	リード線 接続方法
開放型(非防水)	防滴型							
ISG110-030	ISG210-030	0.02~0.3	0.01~0.2	1.0	±0.006	黄銅・リン青銅	なし	(開放型) グロメット
ISG110-031	ISG210-031					黄銅・リン青銅	有	
ISG111-030	ISG211-030					SUS316	なし	
ISG111-031	ISG211-031					SUS316	有	
ISG120-030	ISG220-030	0.05~0.7	0.02~0.35	1.5	±0.014	黄銅・リン青銅	なし	(防滴型) JIS F 8801 電線グラウンド A型 20a ※20b ※20c
ISG120-031	ISG220-031		0.02~0.45			黄銅・リン青銅	有	
ISG121-030	ISG221-030		0.02~0.35			SUS316	なし	
ISG121-031	ISG221-031		0.02~0.45			SUS316	有	
ISG130-030	ISG230-030	0.1~1.0	0.03~0.4	1.5	±0.02	黄銅・リン青銅	なし	20a ※20b ※20c
ISG130-031	ISG230-031		0.03~0.6			黄銅・リン青銅	有	
ISG131-030	ISG231-030		0.03~0.4			SUS316	なし	
ISG131-031	ISG231-031		0.03~0.6			SUS316	有	

周囲温度および使用流体温度-5~80℃(但し、凍結なきこと)、接点構成-1a1b, 2ab(準標準)、接続口径-R3/8、質量-1.3kg(開放型)、1.5kg(防滴型)
※準標準

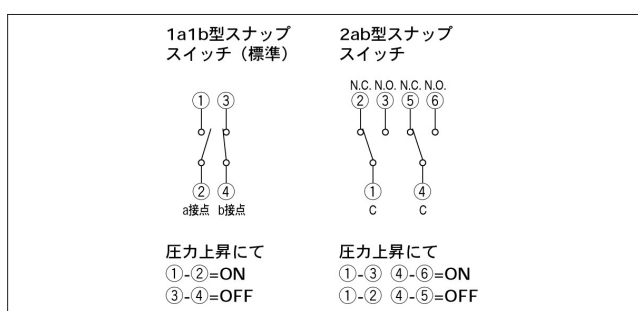
使用流体

使用流体は、接液部材質によって制限されます。適応する材質の機種をご選定ください。

適用流体	接液部材質	
	ベローズ	流体取入部
腐食性のない水、エア、液体、不活性ガス	リン青銅	黄銅
※蒸気(150℃以下)などSUS316を腐食しない流体	SUS316	SUS316

※周囲温度は80℃以下でご使用ください。

接点構造



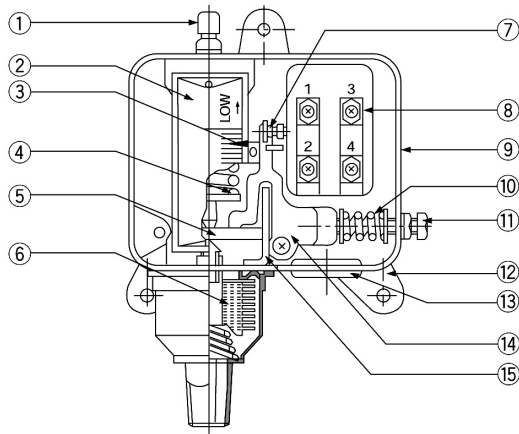
電気定格

定格電圧 (V)	無誘導負荷(A)		誘導負荷(A)	
	抵抗負荷	ランプ負荷	誘導負荷	電動機負荷
AC 110	12	2	12	3
220	10	1	10	1.5
440	6	1	3	1
550	5	0.8	2	0.5
DC 24	3	2.5	3	2.5
48	1.5	1.2	1.5	1.25
110	0.5	0.25	0.5	0.2
220	0.25	0.1	0.25	0.1

絶縁抵抗-100MΩ以上(DC500V メガ)

耐電圧-AC2000V 1分間

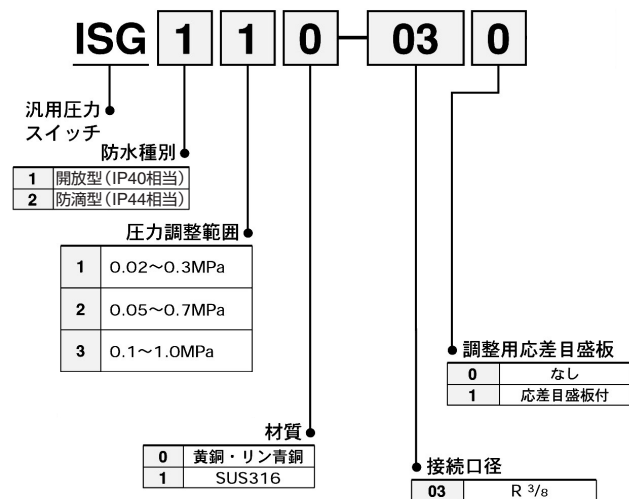
構造図



構成部品

番号	部品名
1	設定圧力調整用ボルト
2	目盛板
3	指針
4	設定圧力調整用スプリング
5	作動用主レバー
6	ベローズアセンブリ
7	スイッチ・プッシュ間調整ボルト
8	1a+1b型スナップスイッチ
9	本体
10	応差 (ON~OFFの巾) 調整用スプリング
11	応差 (ON~OFFの巾) 調整用ボルト
12	ブラケット
13	グロメット
14	スイッチ操作用連結レバー
15	作動レバー用ストップ

型式表示方法



製品個別注意事項

■選定

⚠注意

①使用流体に適合する材質の機種をご選定ください。使用流体には接液部材質によって制限されます。不明な点は、弊社にご連絡ください。

■配線

⚠警告

①内部配線が、スイッチ操作連結レバーに接触しないようにしてください。作動不良の原因となります。

⚠注意

- ①開放型の配線用グロメットの内径はφ17です。グロメットを外すと1/2Bの電線管が取り付けられます。
- ②端子に使用しているねじはM4です。

■取付・配管

⚠注意

①取付け方向は、水平・垂直いずれでも可能です。

■圧力源

⚠警告

①使用流体が液体の場合は、必要に応じウォーターハンマ、または脈動を緩和する為のサージレジュサなどを取り付け、対策を施してください。サージ圧、脈動圧によってISGが破損する場合があります。

■圧力設定

⚠注意

- ①圧力設定は、設定圧力調整用ボルトを回して行ってください。設定圧力は、右回転で増大し、左回転で減少します。
- ②応差 (ON-OFFの巾) は、応差調整用ボルトを回して行ってください。応差目盛板付の場合には、調整ボルトはネジキャップの中にありマイナスドライバで調整してください。応差の巾は、右回転で増大し、左回転で減少します。
- ③応差巾は、規定範囲内でご使用ください。規定範囲外では作動が不安定となります。
- ④目盛板は、圧力表示は目安です。正確な設定は圧力計で測定してください。
- ⑤スイッチング設定表示目盛は圧力上昇時の設定値です。

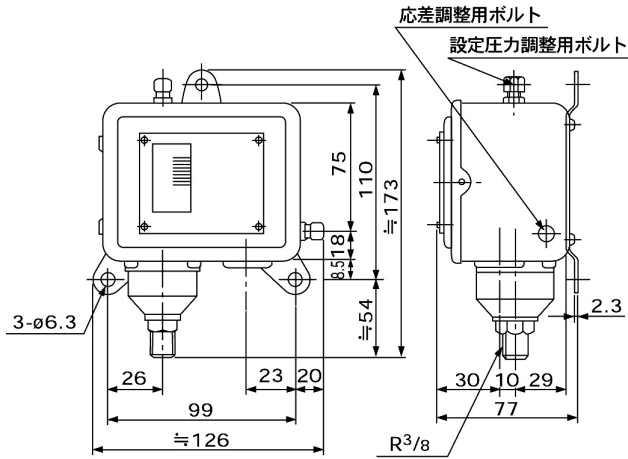
■使用環境

①引火性流体及び引火性ガスの雰囲気では絶対に使用しないでください。防爆構造になっていませんので、爆発災害を引き起こす可能性があります。

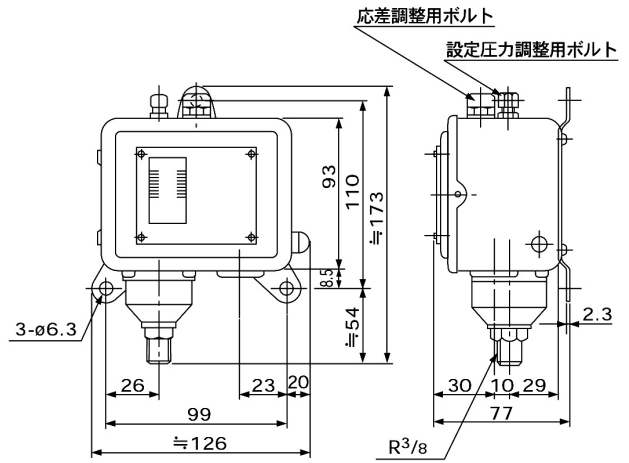
外形寸法図 (単位:mm)

■開放型

ISG110~131-030 (調整用応差目盛板なし)

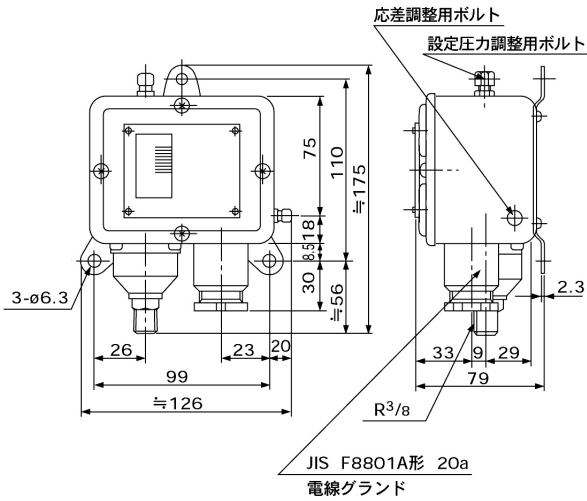


ISG110~131-031 (調整用応差目盛板付)

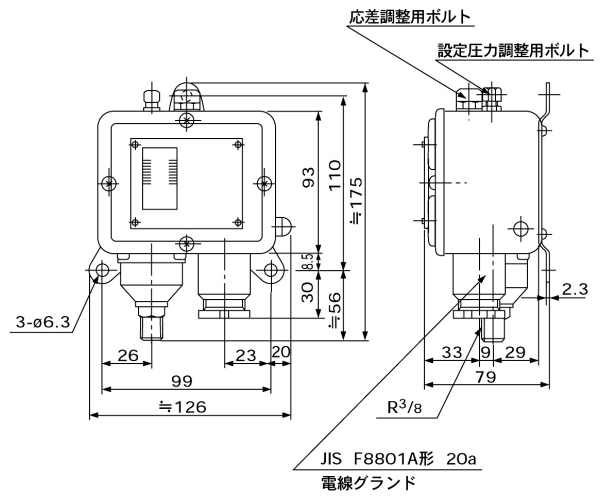


■防滴型

ISG210~231-030 (調整用応差目盛板なし)



ISG210~231-031 (調整用応差目盛板付)



商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。